

令和元年度
ながさき地域医療人材支援センター
長崎県離島・へき地医療支援センター
事業報告書

長崎大学病院
地域医療支援センター

1. スタッフ

センター長 高山 隼人

医 師 渡邊 毅

医 師 原口 雅史

事 務 戎谷 高治

事 務 大平 真弓

事 務 小川 久美

事 務 平山 怜央奈（～令和元年 11 月）

2. ながさき地域医療人材支援センター委託業務内容

(1) 医師不足状況等の把握・分析に関すること

県内の医師不足状況や地域偏在等を把握・分析するため調査事業を実施
地域医療を志向する医師の情報収集や蓄積

(ア) 国保レセプトデータ及び将来人口推計に基づく診療科別必要医師数の将来推計の検討

〈目的〉

長崎県においては全国同様に団塊の世代が 2025 年には後期高齢者となり、全人口の5人に1人が後期高齢者という超高齢者社会を迎えることになり、地域医療のありかたも大きく変わることは必至な状況である。当センターでは、長崎県と連携して国保レセプトデータによる受療状況から「専門性の高い疾病の入院患者数に対する必要医師数の推計」を実施したので、加えて今後の各市町の将来人口推計を利用して、将来の専門医の医療圏別診療科別必要数を推計する。

〈結果〉

専門性の高い疾病の入院患者数に対する必要医師数の将来推計 【資料 1】

(イ) 離島の医師不足状況の把握

〈目的〉

厚生労働省が2年に1回三師調査を実施しているが、結果報告が1年後になることから、長崎県として離島における最新の医師数を早期に把握するため、医師数調査を行う。

〈結果〉

回収率が70.6%（48施設/68施設）のため、追加の収集を行う。

(ウ) 登録医の推進活動

令和2年3月末現在 55名

- 平成31年度のパンフレット送付時に同封
- 辞令交付式での説明 など

(2) 医師不足病院への支援に関すること

登録医等を大学・中核・へき地等の病院を循環させながら、医師のキャリア形成支援を図るとともに、医師不足病院へ斡旋・紹介する。また、大学の人事配置等を決定する会議等に、ながさき地域医療人材支援センターが参画し、関与する。

(ア) 診療援助

大学病院・中核病院等より個別支援が行われており、当センターでの実績なし。

(イ) 医師の斡旋・医療機関見学

【資料 2】

〈実績〉

2名見学、2施設：川棚医療センター、長崎県対馬病院
(平成30年度 5名見学、5施設)

〈成果〉

成立 0名
(平成30年度 成立1名)

(ウ) 医師募集説明会 【資料 3】

9月8日(日) 東京

事務局：高山、戎谷、小川、吉田係長、佐世保市総合医療センター 2名
参加者：4名

10月6日(日) 大阪

事務局：高山、戎谷、吉田係長、佐世保市総合医療センター 2名
参加者：なし

(平成30年度 参加者1名)

(エ) 医師からの求職等の照会 【資料 4】

照会件数 56件

(平成30年度 31件)

(オ) 面談医師数

延べ10名(医師募集説明会の1名を含む)、実質9名

(平成30年度 延べ10名、実質9名)

(カ) 地域医療継続支援事業 【資料 5】

近年、全国的に若手医師の都市部への偏在が指摘されている。若手医師を一定数確保している長崎市、佐世保市、大村市の基幹病院は周辺の医師不足地域をカバーする役割を果たしているという側面があるが、都市部周辺以外の医療圏では医師不足だけでなく医師の高齢化も進んでおり、医師不足地域に医師を確保することは喫緊の課題となっている。

・令和元年度アンケート調査を実施

令和2年3月 長崎県医師会員に対して配付

配付枚数 3300枚

令和2年4月末締め切り

・承継情報のHP掲載

令和元年12月より医師会の承継情報を提供頂き、当センターHPに掲載開始した。

(キ) ながさきキャリア・デベロップメント支援事業 【資料 6】

専門医として医療に携わってきた中堅医師～ベテラン医師が、不安なく、地域を“幅広く総合的に診る”ことができるように、総合診療医へのキャリア・デベロップメントを支援する。

令和元年度は4つの研修領域の到達目標を検討する。

検討委員会委員

① 内科領域

山梨 啓友（長崎大学病院 総合診療科）

原口 雅史（長崎大学病院 地域医療支援センター・消化器内科）

馬込 省吾（対馬病院 内科）

② 外科領域

足立 智彦（長崎大学病院 移植・消化器外科）

八坂 貴宏（対馬病院 外科・院長）

中嶋 秀治（杵岐病院 外科）

③ 整形外科領域

木寺 健一（長崎大学病院 整形外科）

一宮 邦訓（上五島病院 整形外科）

中村 智治（対馬病院 整形外科）

④ 小児科領域

蓮把 朋之（長崎大学病院 小児科）

小森 一広（長崎川棚医療センター）

中村 俊貴（長崎県病院企業団本部（長崎大学病院））

〈成果〉

内科・外科・整形外科・小児科の研修の到達目標を設定した。

小児科領域に関しては、詳細まで検討を終了した。

(3) 医師のキャリア形成支援に関すること

地域医療に従事する医師のキャリア形成の支援への取組

(ア) 医学文献複写サービスの提供

依頼件数 24 件（文献総数 127 件）

（平成 30 年度 依頼件数 31 件（文献総数 107 件））

(イ) 長崎県における総合診療専門医の育成・支援に関する長崎県総合診療専門医養成連携プログラム推進事業

① 総合診療専門医養成推進委員会

【資料 7】

総合診療医を育成支援する長崎県版モデルプログラムを有効活用するための体制作り並びに活用推進の方策及び連携プログラムに参加する後期研修医を増やすための方策の具体案を検討する。

活動状況

第 1 回委員会：令和元年 8 月 1 日（木）

第 2 回委員会：令和 2 年 2 月 1 日（土）

② 遠隔指導システム

【資料 8】

指導医が、遠隔地で研修する専攻医に対して遠隔指導システム（V-CUBE ミーティング 5）を利用してカンファランスや面談を行う。

令和元年度の活用実績 56 回

内訳：カンファランス 5 回、講演会 17 回、会議 16 回、面談 18 回
（平成 30 年度 活用実績 30 回）

- ③ 指導医のためのセミナー 【資料 9】
指導医が専攻医や研修医、医学生に適切な指導を行うための研修を行う。

・第 1 回指導医セミナー

令和元年 5 月 24 日（金）

テーマ「ポートフォリオの評価に関して」

講師：大西 弘高 先生 東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター

参加者：県内医師 16 名

・第 2 回指導医セミナー

令和元年 11 月 13 日（水）

テーマ「English Case Conference 診断学入門」

講師：ローレンス・ティアニー教授 カリフォルニア大学サンフランシスコ校

参加者：県内医師 49 名

- ④ 地域卒学生生活動支援事業 【資料 10】
長崎大学医学部地域卒学生が、長崎県の医療ニーズや医師のライフスタイルを学んでもらうために、指導医らと意見交換し、県内での地域医療に従事するためのモチベーションを高める。

令和元年度地域卒活動報告会

テーマ：地域医療への貢献と私生活のバランスについて考えよう

～地域医療への貢献と人生を楽しむためには～

日時： 第 1 日目…令和元年 10 月 8 日（火）16：30～19：30

第 2 日目…令和元年 10 月 15 日（火）16：30～19：10

- ⑤ 長崎県内で働く医師を増やすための研修事業 【資料 11】
1. 医学生地域見学実習

医療系学生が短期滞在型の地域見学を行う。

〈実績〉

見学者 487 名 （1 週間見学 247 名、4 週間見学 240 名）

2. 離島医療教育研究会

実習に参加した学生のアンケート結果を指導者にフィードバックし、離島医療教育の現状と課題を議論する。

【壱岐地区】 令和元年 11 月 8 日(水) 18:00~19:30

場 所：長崎県壱岐病院 研修センター

【対馬地区】 令和元年 11 月 15 日(金) 18:30~20:00

場 所：対馬グランドホテル

【下五島地区】 令和 2 年 1 月 17 日(金) 18:30~20 : 00

場 所：長崎県五島中央病院

(ウ) 長崎県後期研修プログラム構築推進事業

① 説明会

「長崎県専門研修概要説明会」

開催日：6 月 15 日（土） 会場：長崎大学病院

参加者：106 名

② 専攻医登録システム「キャリアシステム」

令和元年度より開始した専攻医の登録作業を各基幹施設で実施。

1. 長崎大学病院 100 名

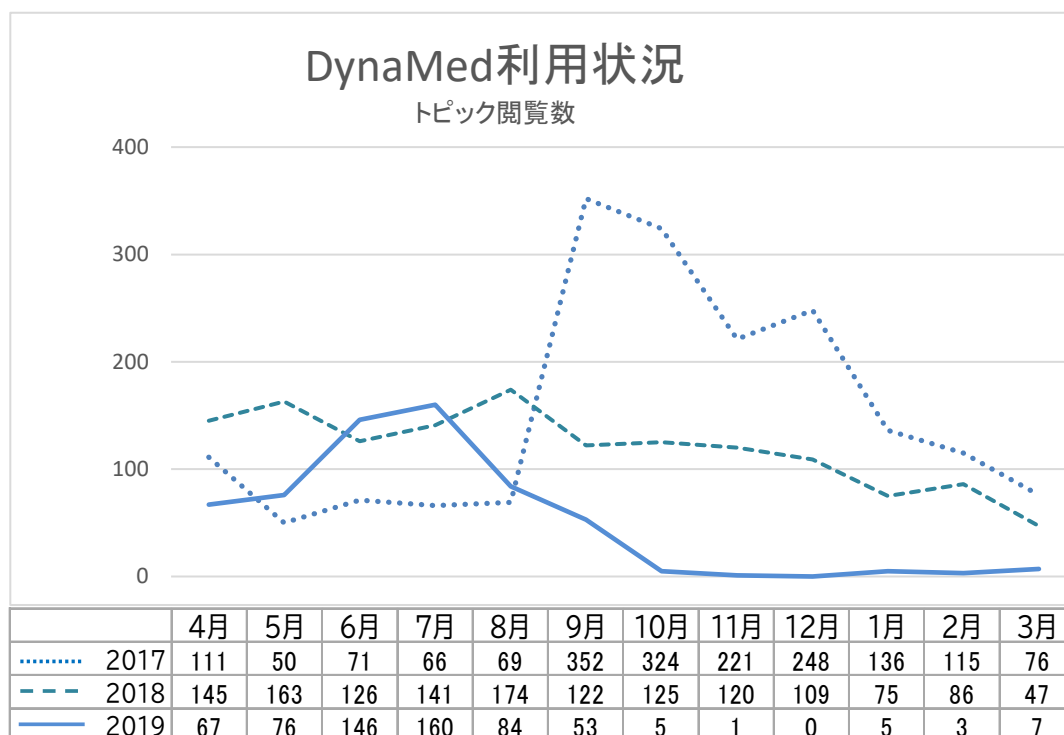
2. 長崎医療センター 10 名

3. 長崎県上五島病院 1 名

(平成 30 年度 83 名)

③ EBM ツールの利用

キャリア形成支援目的で、専門研修プログラムやキャリア形成支援利用登録を行った医師に、EBM ツールを提供して長崎県内での定着に繋げる。



(工) 新専門医制度に対応した専攻医確保事業

① 専門研修見学等旅費助成事業

【資料 12】

県内病院見学及び医局説明会への参加者累計 102名

見学先別累計：長崎大学病院 97名、長崎医療センター4名・上五島病院 1名

旅費助成の対象者 61名

〈成果〉

長崎県内プログラム採用数 16名（44%）

採用施設：長崎大学病院 15名、長崎医療センター1名

（平成30年度 長崎県内プログラム採用数 18名（50%）

採用施設：長崎大学病院 16名、長崎医療センター1名、上五島病院 1名）

(4) 求人情報の発信及び相談対応に関すること

(ア) 各種学会での医師募集及び情報発信

① 学会（医師募集ブース開設）

学会名	開催日	会場	来訪者数
第10回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会	5月17日～ 5月19日	国立京都国際会館（京都）	45
第22回日本臨床救急医学会 総会・学術集会	5月31日～ 6月1日	和歌山県民文化会館（和歌山）	72
第23回へき地・離島救急医療学会	9月28日	札幌東徳洲会病院（北海道）	20
第47回日本救急医学会総会・ 学術集会	10月2日～ 10月4日	東京国際フォーラム（東京）	108
第38回日本蘇生学会	11月15日～ 11月16日	長崎新聞文化ホール	20
第27回日本消化器関連学会 週間JDDW2019	11月21日～ 11月23日	神戸コンベンションセンター（兵庫）	67
第25回日本災害学会総会・ 学術集会	2月20日～ 2月22日	神戸国際会議場（兵庫）	81
第47回日本集中治療医学会 学術集会	3月6日～ 3月8日	名古屋国際会議場（愛知）	中止
計			413

② 学会（ポスター・パンフレット掲示）

第 23 回日本救急医学会九州地方会	6月14日～ 6月15日	北九州国際会議場（北九州）
第 51 回日本医学教育学会大会	7月26日～ 7月27日	京都府立京都学・歴彩館（京都）
第 78 回日本公衆衛生学会	10月23日～ 10月25日	高知市文化プラザかるぽーと（高知）

(イ) 医療情報誌への医師募集及び医師募集説明会の掲載 【資料 13】

- ① 医師募集説明会広告：日本医事新報への掲載（6回（7月～9月））
：メディカルトリビューンへの掲載（5回（7月～9月））
- ② 医師急募（募集）広告：日本医事新報（急募）（20回（5月～3月））
：メディカルトリビューン（急募）（7回（12月～3月））
：リクルートメディカルキャリア（募集）（1回（2月））

(ウ) 求人情報サイトによる情報発信 【資料 14】

- ① 各 web サイトに医師募集情報掲載
 - ・CB コンサルティング web サイト（通年）
 - ・日本医事新報の web サイト（通年）
- ② CB コンサルティング登録医師への一斉メール配信
 - ・医師募集説明会のスカウトメール送信 2回：28,255件
- ③ web サイトのディスプレイ広告及びバナー広告
 - ・民間医局：医師募集説明会（ディスプレイ広告、8月～9月）
 - ・民間医局：医師募集（ディスプレイ広告、12月～3月）
 - ・e-doctor：医師募集（バナー広告、12月、2月）
- ④ e-doctor 登録医師へのメルマガ配信
 - ・医師募集のメルマガ配信 2回：24,554件

3.長崎県離島・へき地医療支援センター委託業務内容

専任医師：高山隼人

- (1) 代診医の診療派遣、斡旋等の連絡調整に関すること 【資料 15】
診療所医師が学会出席や休暇取得などによる不在となる場合に要請を受け、専任医師の派遣もしくは“しますけっと団”による代診医の斡旋を行う。
(ア) 代診関係
斡旋件数 68 件（斡旋日数 278 日）
（平成 30 年度 斡旋件数 48 件（斡旋日数 232 日））
- (2) 県内離島診療所への常勤医師の斡旋・紹介に関すること 【資料 2】
〈実績〉
5 名見学、4 施設：長崎市高島診療所、松浦市立福島診療所、五島中央病院附属診療所
奈留医療センター、佐世保市総合医療センター宇久診療所
（平成 30 年度 4 名見学、2 施設）
〈成果〉
成立 2 名（2019 年 8 月 19 日より 1 名、2020 年 4 月 1 日より 1 名）
（平成 30 年度 成立 1 名）
- (3) 離島・へき地の医師募集に関すること
「2（4） 求人情報の発信及び相談対応に関すること」を参照
- (4) その他
(ア) 第 11 回 全国へき地医療支援機構等連絡会議 中止
令和 2 年 2 月 21 日（金） 厚生労働省講堂
出席者 高山